


路地百選推薦書

推薦者氏名：河野泰、大和田清隆

推薦する路地（のまち）の名称	了頓岡子（りょうとんざし）		
所在地	京都市中京区了頓岡子町		
<p>【推薦する理由（路地のよいところ）】</p> <p>安土桃山時代に広野了頓が茶亭を構え、豊臣秀吉、徳川家康が入洛時には訪れたという由緒ある地。もともと屋敷内の路地で、了頓は屋敷内の表門から裏門までの通行を「まちのものが喜ぶなら」と誰もが通れるようにしたという。今でも町家が多く残り、落ち着いた風情を残す。</p>			
<p>【写真添付】</p> <div style="text-align: center;">  </div>			
路地の概要	面積	約 h a	路地の延長 約 1 2 0 m
まちの成り立ち、特色等	<p>応仁の乱（1467年）で焦土と化した京を、秀吉は土居を築き、洛中・洛外の区別をつけ、7つの入口を設けた。この周辺には奥の文化人や豪商が居を構えた。足利家の従臣であった廣野家が領有した地で、了頓はその末裔。</p> <p>最近、料亭跡が分割され建売り住宅になったり、隠れ家的なイメージで若者や女性受けを狙った飲食店や古着屋などへの改装が相次いでいます。</p>		